

## 教職員による学校評価の分析

- ・調査をとった12項目中すべての項目でA+B（十分に達成と達成）の割合が8割を超えた。特に「登校時のあいさつ・ハイタッチ 100%できたか。」「出席率99%が達成できたか。」「朝食摂取率100%達成できたか。」「給食後の歯磨き100%が達成できたか。」については、100%であった。
- ・他の項目についてもおおむね90%程度の達成率である。
- ・調査の時期が12月であり、2月までのスパンで取り組んでいるものもあるので、その頃に再調査すればもっと達成度が上がるものもあると考えられる。
- ・これまで同様に、「知」「徳」「体」に関する項目全てで自己評価が概ね高かった。担当を中心に全職員で100%達成を目指して、取り組ませたい。

## 保護者による学校評価の分析

- ・全体的に見るとA+B（十分に達成と達成）の割合が約9割に達した項目は8項目中7項目であった。昨年度は約9割に達した項目が6項目であったが、その他3項目もA+B（十分に達成と達成）の割合が約8割であるので取組が保護者に定着してきたことが伺える。
- ・特にA評価の割合が高いのが、「良文・古典の暗唱を10個以上します。」「毎日、朝食を食べます。」「むし歯をつくりません。むし歯になったら、治療します。」の項目であり、達成には特に保護者の協力が必要な項目である。
- ・逆にA評価の割合が低くなっているのは、「読書を40冊（1、2年）30冊（3年以上）以上しますに取り組めましたか。」と「毎日、休まず学校に行きます。」の実践についてである。読書については、雨天の休み時間に集団読書を取り入れる等、引き続き読書の楽しさを実感し、自分から本を読む児童を育てていきたい。また、「毎日、休まず学校に行きます。」については、「学校は楽しいところである。」ということを家庭と協力しながら全職員で実現していく必要がある。
- ・以上のことから、長井小学校の継続した取組により、成果が出ていることがわかる。

## 学校関係者による評価（2月の学校運営協議会より）

- ・知・徳・体の目指すところが具体的で解りやすく児童に伝わり実践されていると感じました。
- ・目標をもって仲間と競い合いチャレンジしている様子がわかりました。暗唱への熱意は素晴らしいといつも感心しています。楽しく学習に取り組んでいたのが嬉しく思いました。
- ・校長先生のリーダーシップのもと、全職員で取り組んでいる成果が少しずつ出ていると改めて感じています。
- ・道路で見かける子どもたちが、お辞儀をしてくれたり手を振ってくれたり、心が癒やされます。明るく前向きなこの心を中学へ行ってもなくさず頑張ってもらいたいです。
- ・登校渋りのご家庭を「チーム長井」で引き続きしっかり支えていただけると嬉しいです。
- ・6年生の長縄、本当に上手になりびっくりしました。苦手な子もいると思いますが、みんなと励まし合い、支え合い、先生方に勇気づけられて頑張ったのだと思いました。それぞれにたくましく成長している姿に胸を打たれます。

## 校長総括

本校は、今年度も運動面、学習面において素晴らしい成果をあげることができた。これも保護者の皆様のおかげだと考えている。7年目となった「長井小13の取組」が定着し、達成率が高水準を維持している。そのため、児童の学力の土台がしっかりしてきていることを実感している。来年度以降も学校は、知的好奇心を高め、確かな知識や技能、思考力や表現力を伸ばす授業の充実に努めていく。ご家庭のご理解・ご協力を得ながら成果を上げていきたい。

## 教職員による学校評価の分析

- ・調査をとった12項目中すべての項目でA+B（十分に達成と達成）の割合が8割を超えた。特に「登校時のあいさつ・ハイタッチ 100%できたか。」「出席率99%が達成できたか。」「朝食摂取率100%達成できたか。」「給食後の歯磨き100%が達成できたか。」については、100%であった。
- ・他の項目についてもおおむね90%程度の達成率である。
- ・調査の時期が12月であり、2月までのスパンで取り組んでいるものもあるので、その頃に再調査すればもっと達成度が上がるものもあると考えられる。
- ・これまで同様に、「知」「徳」「体」に関する項目全てで自己評価が概ね高かった。担当を中心に全職員で100%達成を目指して、取り組ませたい。

## 保護者による学校評価の分析

- ・全体的に見るとA+B（十分に達成と達成）の割合が約9割に達した項目は8項目中7項目であった。昨年度は約9割に達した項目が6項目であったが、その他3項目もA+B（十分に達成と達成）の割合が約8割であるので取組が保護者に定着してきたことがうかがえる。
- ・特にA評価の割合が高いのが、「良文・古典の暗唱を10個以上します。」「毎日、朝食を食べます。」「むし歯をつくりません。むし歯になったら、治療します。」の項目であり、達成には特に保護者の協力が必要な項目である。
- ・逆にA評価の割合が低くなっているのは、「読書を40冊（1、2年）30冊（3年以上）以上しますに取り組めましたか。」と「毎日、休まず学校に行きます。」の実践についてである。読書については、雨天の休み時間に集団読書を取り入れる等、引き続き読書の楽しさを実感し、自分から本を読む児童を育てていきたい。また、「毎日、休まず学校に行きます。」については、「学校は楽しいところである。」ということを家庭と協力しながら全職員で実現していく必要がある。
- ・以上のことから、長井小学校の継続した取組により、成果が出ていることがわかる。

## 学校関係者による評価（2月の学校運営協議会より）

- ・知・徳・体の目指すところが具体的で解りやすく児童に伝わり実践されていると感じました。
- ・目標をもって仲間と競い合いチャレンジしている様子がわかりました。暗唱への熱意は素晴らしいといつも感心しています。楽しく学習に取り組んでいたのが嬉しく思いました。
- ・校長先生のリーダーシップのもと、全職員で取り組んでいる成果が少しずつ出ていると改めて感じています。
- ・道路で見かける子どもたちが、お辞儀をしてくれたり手を振ってくれたり、心が癒やされます。明るく前向きなこの心を中学へ行ってもなくさず頑張ってもらいたいです。
- ・登校渋りのご家庭を「チーム長井」で引き続きしっかり支えていただくと嬉しいです。
- ・6年生の長縄、本当に上手になりびっくりしました。苦手な子もいると思いますが、みんなと励まし合い、支え合い、先生方に勇気づけられて頑張ったのだと思いました。それぞれにたくましく成長している姿に胸を打たれます。

## 校長総括

本校は、今年度も運動面、学習面において素晴らしい成果をあげることができた。これも保護者の皆様のおかげだと考えている。7年目となった「長井小13の取組」が定着し、達成率が高水準を維持している。そのため、児童の学力の土台がしっかりしてきていることを実感している。来年度以降も学校は、知的好奇心を高め、確かな知識や技能、思考力や表現力を伸ばす授業の充実に努めていく。ご家庭のご理解・ご協力を得ながら成果を上げていきたい。

